

平成29年度 事業報告

平成30年4月1日
おおぞらこども園

1. 保育園の運営

(1) 所在地	貝塚市二色2丁目11-1				
(2) 定員	90名(実数102名)				
内訳	0歳児	8名	1歳児	19名	2歳児 23名
	3歳児	17名	4歳児	17名	5歳児 18名
	職員数	27名			(平成29年4月1日現在)

2. 保育目標

児童福祉法・社会福祉法及び子どもの権利条約等に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある保育と教育の振興と推進を目的とする。

- *人権を守り一人ひとりを受容する。
- *くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な保育を行う。
- *一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- *国際的視野を持ち家庭的な保育を行う。
- *安全環境づくりに取り組み地域に根ざす保育園運営を目指す。
- *保育アセスメントを基にした保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- *子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び、自ら考え行動する力を培う。

○保育時間	保育園開園時間	午前7時～午後7時
	保育短時間	午前9時～午後5時
	保育標準時間	午前7時～午後7時
	延長保育時間	午後6時～午後7時 (延長保育料金徴収)

○保育内容

I・カリキュラム・デイリープログラム等は園長・主任・保育士が子どもの発達に応じた内容を協議し努めた。

クラスごとに年間を通しての研究課題を決め保育研究を進め、その成果は、平成29年度末にクラスだよりにて報告して保育の理解を図った。

ホームページに研究発表（全クラス）公開した。

・コーナー保育を中心に展開

ままごと・知育・ブロック等のコーナーの充実を図った。

0歳児は担当制の充実を図るため食事コーナーを棚で仕切り落ち着いた環境を図った。

・脇浜保育園との園児交流に努めた。（田舎体験・コンサート鑑賞・プール遊び等）

・4歳児

英語遊び・体育指導・げんき工房・S I あそび《ギルフォード教材》・硬筆

・5歳児

フェアリーキッズ（自然散策野外活動）・英語遊び・体育指導（剣道導入）

げんき工房

S I あそび《ギルフォード教材》・習字（硬筆・毛筆）

おおぞらステップ 知育遊び(そろばん)

英語遊びと硬筆の参観を実施

II・食育活動を家庭・地域にアピール

浜手地区公民館のお知らせボードで給食だよりを掲示した。

当園ホームページで給食メニューの写真を更新した。

食育の保育を毎月19日前後に実施した。

（食育保育活動内容を保護者に伝達）

*給食だよりに給食メニューの一部を写真で解りやすくし、月平均栄養価に加え、毎日のエネルギー量を掲載した。

*アレルギー対応に努めた。

III・2歳児は園庭で、3・4・5歳児クラスは第五中学校の校庭でランニングを行った。

IV・0歳児～5歳児までの散歩等戸外活動を通して自然と触れ合う活動を重視した。年5回バスを利用して郊外保育を実施した。

（散歩等戸外活動を通して、自然と触れ合う活動。）

V・外部講師依頼

手話講師・絵画指導・ギルフォード社

VI・国際交流

VII・平成30年度に向けて幼保認定型認定こども園に移行

おおぞら保育園からおおぞらこども園の手続きを行った。

*あひる劇団の公演を年3回

*どうぞの椅子の充実(園から家庭への配布物)

*絵本の充実

のんびりルームに新刊83冊追加(新刊絵本をホームページにて紹介)

絵本の救急箱充実

*祖父母参観日・個人懇談(年2回)を実施

*行事後に保護者にアンケートを実施して回答を配布

*外部コンサートを開催

3. 地域交流事業・子育て支援事業

- ・保育所体験事業(スマイルキッズ・園庭開放・グルメランチ・子どもロビーコンサート)
- ・子育て支援事業(人形劇公演・夕涼み会・菜園活動・子育てセミナー等)
- ・シニア世代交流
うぐいすクラブ・老人施設訪問・浜手地区公民館の茶道クラブとの交流
- ・貝塚いぶき作業所との交流
玩具の購入・陶芸活動参加・いぶき祭りに園児の作品
- ・地域関係機関、団体との連携協力の促進 二色校区福祉委員会参加
年3回すこやかネット会議参加(地域教育協議会・学校支援助地域本部)
年3回すこやかネットニュース発行(地域に2000部配布)
常任委員会に参加
- ・貝塚市立二色小学校・貝塚市立第五中学校の入学式と卒業式に参加
- ・防犯・防災訓練を実施

4. 職務担当

- ・行事担当・月当番等担当保育士を定め、園長は総括指揮に努めた。
- ・運営事務全般等は事務長の指揮に努めた。
- ・管理栄養士のもと調理員は給食調理に努めた。
- ・園医・安全指導員・英語指導員・体育指導員は外部委託契約とする。

5. 保育設備

- ・緑化推進に努めた。
- ・保育環境の備品の設備と充実を図った。

- ・給食室の備品と設備の充実を図った。
- ・保育用具及び備品の充実を図った。
- ・0歳児クラスに棚を購入して保育の充実を図った。

○資金の計画

- ・委託費収入と補助金収入で円滑に進めた。
(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

○その他

- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生 of 充実
- ・職員体制の改善
- ・研修の充実
- ・職員の休憩時間確保
- ・非常災害備品の備えの点検
- ・職員・園児名簿等は別紙参照